

水戸藩開藩四百年記念「桜田門外ノ変」映画化支援の会

第1回「大日本史」編纂と水戸藩

＜内容＞

水戸義公（光圀）によって編纂が始められた「大日本史」が完成されるまでの概略を知り、「大日本史」編纂の意図するところを探ります。さらに、水戸藩成立の事情にもふれるとともに、「大日本史」古写本3種も紹介します。

＜講師：久野 勝弥 氏＞

笠間市出身。1960年茨城大学教育学部卒業。公立中学校教諭、県立高等学校教諭、県立歴史館研究員を経て県教育庁文化課へ。1988年より、県立高等学校5校で教頭および校長を歴任。1998年定年退職、県立教育研修センター研究調査員をつとめた。1999年NHK地方文化功労賞受賞（最後の將軍徳川慶喜制作に協力）。現在は、水戸史学会副会長、茨城県郷土文化研究会副会長。著書は、「他藩士の見た水戸」、「水戸義公伝記逸話集」、「水戸の洋学」、「茨城の歴史散歩」、「藤田幽谷の研究」「常陸路の歴史散歩」など。

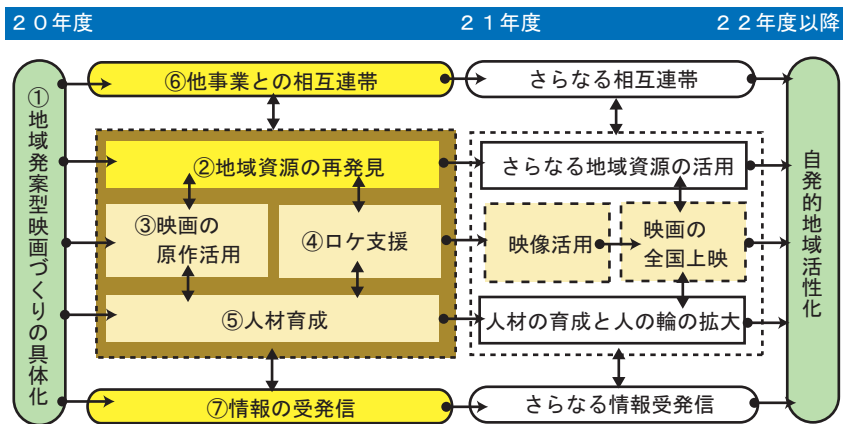
会場までのアクセス



水戸市男女文化センターびよんど
水戸市五軒町1丁目2番12号
Tel (029) 226-3161(代表)

『桜田門外ノ変』映画化支援の会の活動概要

江戸の末期、水戸藩による幕政改革をめざした学問・教育思想は、押し寄せる列強の脅威に対して、諸藩を「尊王攘夷」の旗印の下に糾合させるバックボーンとなりました。さらに、幕権回復のために断行された安政の大獄に起因する水戸藩浪士らによる「桜田門外ノ変」は、幕末日本に大きな転機をもたらし、雄藩や尊攘志士の列強との交戦、続く明治維新への先駆となりました。私たちは、水戸藩が最も熱く燃えた日々を郷土の美しい風景とともに映し出す『桜田門外ノ変』の映画化をめざします。どうぞ皆さん、この映画づくりと、それを起爆剤とした多彩なまちづくり活動（講演会や史跡めぐり、交流事業ほか）に、是非ご参加下さい。茨城はもとより日本全国に向けて、混迷する現代を見すえ新たな時代を切り拓く「気運」を醸成していきましょう。



参加申込書

講座名 < 第1回「大日本史」編纂と水戸藩 >

所属

氏名

電話

Fax

お申し込み Tel&Fax 029-303-0310